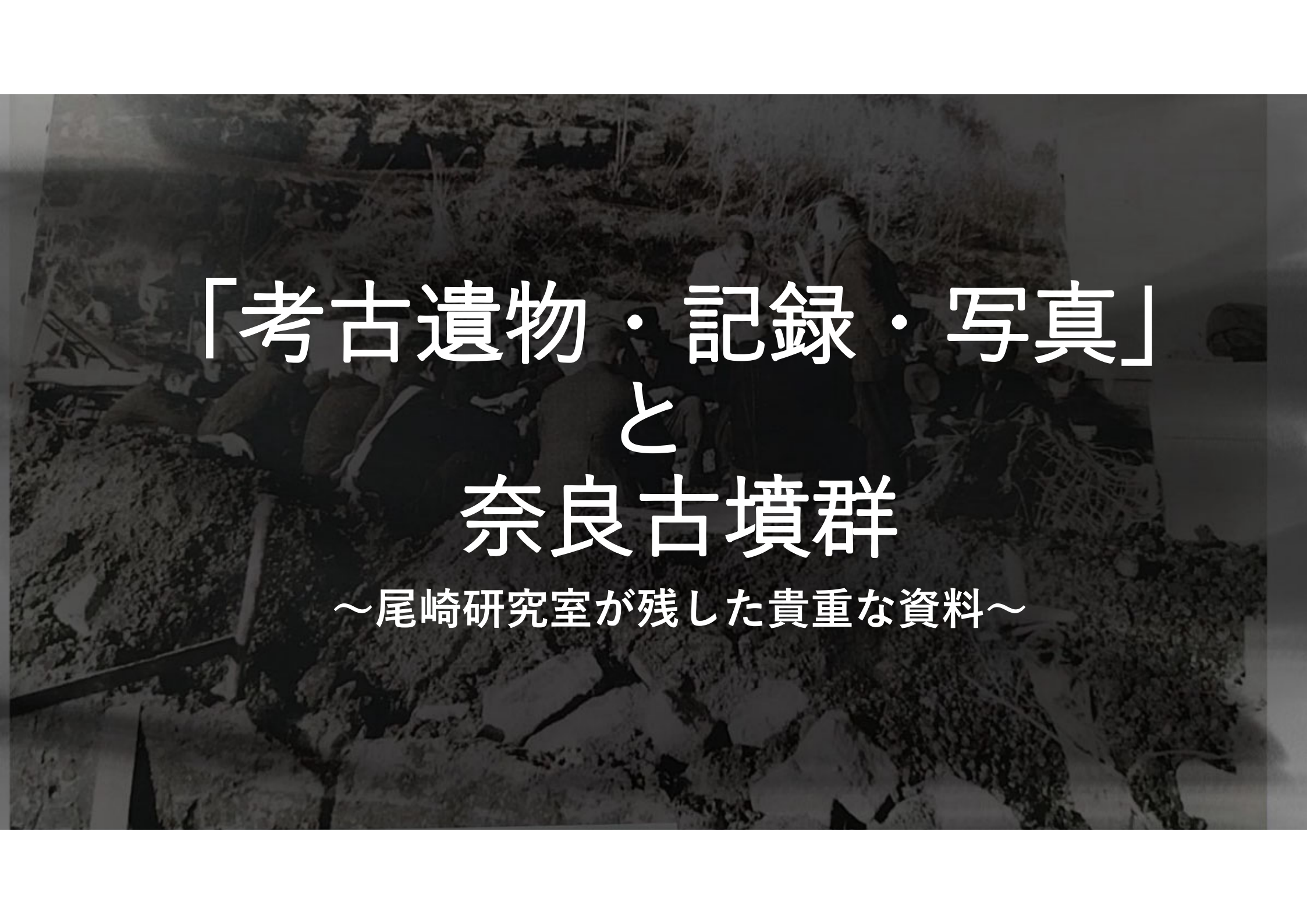




「考古遺物・記録・写真」 と 奈良古墳群

～尾崎研究室が残した貴重な資料～

尾崎喜左雄先生



尾崎先生って誰？

1904年神奈川県に生まれ、
東京帝国大学卒業しています。
その後、群馬の地に足を踏
み入れ、昭和23年から45年に
わたり県内の古墳発掘調査に
携わり、県内300以上の古墳
の調査を行いました。

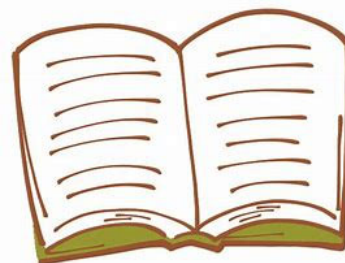
群馬大学の名誉教授であり、
「群馬県の古墳発掘の父」
と称されています。

尾崎研究室がまとめた、
「考古遺物・記録・写真」の
3点が揃った調査資料はとて
も貴重な資料であり、現在で
も評価されています。

調査資料3点セット

考古遺物

考古遺物は副葬品など人間の積極的な製作活動により残されたもの、無意識のうちに意図せずして残された人間の足跡などのこと



写真

写真は古墳や副葬品、発掘の様子を撮影したもの



記録

記録は調査日誌や古墳の測量図のこと

尾崎研究室がまとめた
「考古遺物・記録・写真」
にはどんなものがあるのだ
ろう？

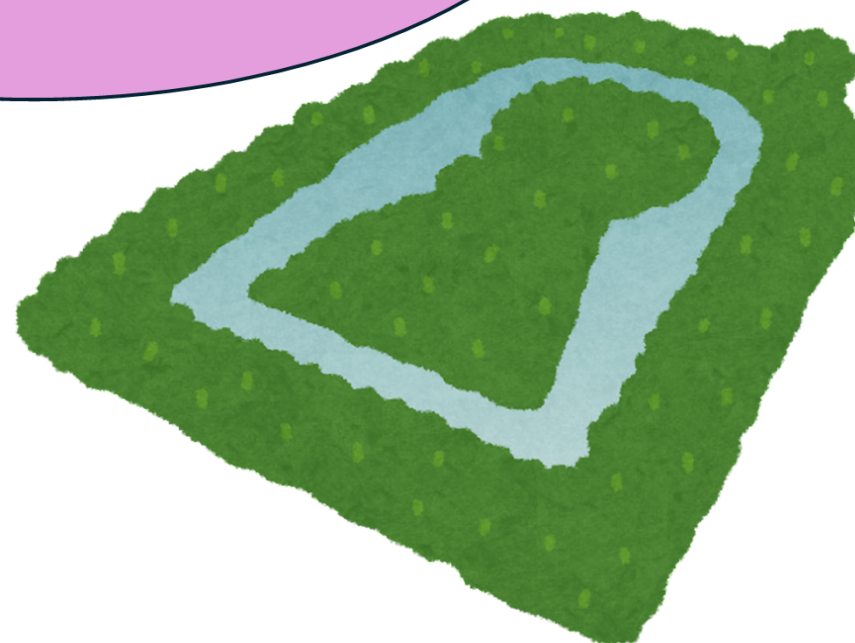


実際に調べ
てみよう！





実例として、群馬県沼田市
奈良町にある、
「奈良古墳群」の
「考古遺物・記録・写真」
を見てみよう！



奈良古墳群とは？

- ・ 沼田市奈良町で確認されているのは59基(現存しているのは13基)
- ・ 横穴式石室を埋葬施設とする円墳
- ・ 尾崎研究室が昭和30年4月には、6日間かけて6基の古墳を調査
- ・ 古代群馬の馬の生産を示す重要な群集墳
- ・ 奈良カ号古墳では鉄製壺鐙(てっせいつばあぶみ)が出土

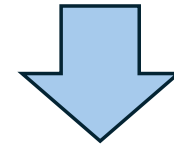


奈良古墳群の考古遺物①



鉄製壺鐙(てつせいつぼあぶみ)

鐙は馬具の1つで、壺鐙は馬に乗る際に足に乗せる部分が袋状になっているもの。



馬具が発見されたことで…

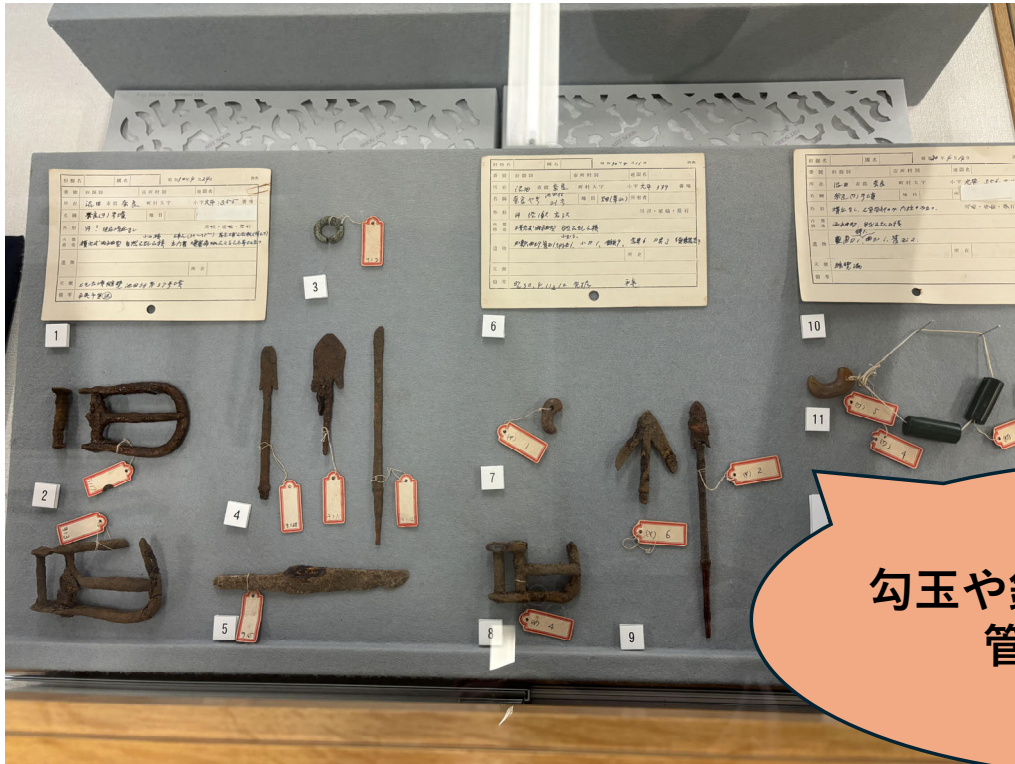
群馬では、馬の飼育が盛んだったことが分かる。

古墳時代の中頃、当時の群馬は、東日本屈指の有力地域だったため、朝鮮半島から渡来人によって馬が伝えられた。群馬の地域は、広大で平坦な馬の放牧に適した地形であったため、中央政府に信頼される国の1つとして馬の生産を任せられていたと考えられている。

こうやって
発掘されたよ！

奈良カ号古墳(沼田市奈良町)

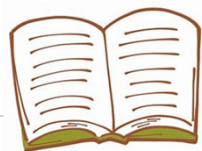
考古遺物②



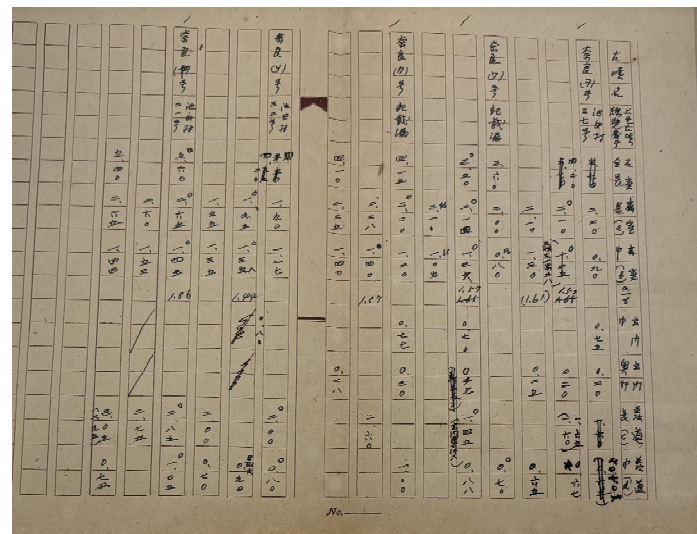
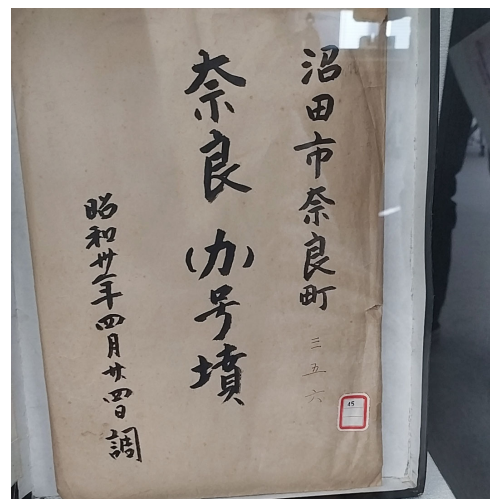
ガラス玉やくつわ
帯先金具もある
よ！

勾玉や鉄鏃（てつぞく）、
管玉があるよ！

奈良古墳群の記録



調査日誌や測量図などの記録は、古墳や当時の古墳調査の様子を知る上でとても大きな役割を果たします。



奈良古墳群の写真



奈良カ号古墳（沼田市奈良町）

発掘当時の
様子

鉄製壺鐙(てつせい
づあぶみ)



奈良古墳群（沼田市奈良町）

奈良古墳群（沼田市奈良町）

調査風景



墳群（沼田市奈良町）



おわりに

・尾崎研究室では300以上の古墳調査に携わっていますが、このように「**考古遺物・記録・写真**」の3点が揃った資料がしっかり残っています。資料群を見ていると、ひとつひとつの古墳に丁寧に、紳士的に向き合っていることが伺えます。

・尾崎研究室が調査した古墳はたくさんあります！他の古墳も調べてみてください！

参考文献

- [群馬県指定史跡 奈良古墳群 | 沼田市公式ホームページ
\(city.numata.gunma.jp\)](http://city.numata.gunma.jp)
- 群馬大学総合情報メディアセンター尾崎喜左雄博士展 Part 8